

あかね★開運塾

生活に根差す「占い」のお話

サルサ読者の皆様、こんにちは。占い師のあかねです。

今回は、日常生活の中で耳にしている言葉や慣習の中にも、占いの元となる思想が入っていて、昔から占いを上手に使用しながら、子孫繁栄・五穀豊穡などの人々の願いを込めていることを紹介したいと思います。

◆桃太郎

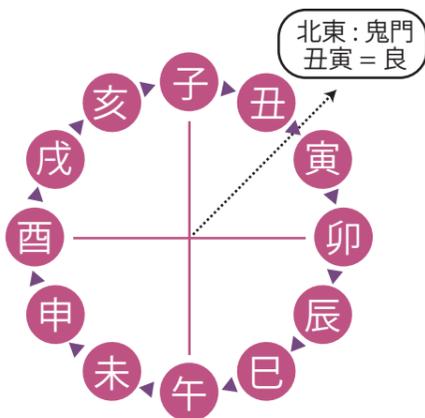
およそ江戸時代から語り継がれているという、誰もが知っている「桃太郎」という昔話が、鬼門という日本の家相と関わりがあることについて書いていこうと思います。

桃太郎は、猿と雉(きじ)と犬を仲間に加え連れて、鬼が島まで鬼退治に行くというお話ですね。幼少の頃、私はこの昔話を讀んだときに、

「何故、熊や寅といった強そつな動物を連れて行かないで、猿と雉(きじ)と犬という弱そつな動物を連れていったのだろつ?」
と思いました。

その答えは、私が占い師を目指し、占いの勉強している時にわかりました。この桃太郎というお話が、鬼門の話だと知ったのです。

昔は、鬼や邪悪なものがある方位を「鬼門」として恐れていました。「鬼門」の方角は「東北」です。



また、鬼門の方角は十二支によっても表現することができます。「東北」は「丑寅(うしとら)」の方角に当たります。

鬼が角を生やし、寅柄の衣を着ている姿は、牛の角と寅の皮から想像されたこと、一説では考えられています。鬼がいる鬼が島は、鬼門である東北で

す。桃太郎は「猿・鳥・犬」を仲間にして鬼退治に行きましたが、この三匹になったのは、鬼門の反対「裏鬼門」に位置する南西「未申(ひつじさる)」の方角に理由があるといわれています。

鬼門に対抗できる裏鬼門から時計周りの三匹を仲間にしたのです。しかし、未(羊)は、日本書記には記録があるようですが、日本に輸入されたのは明治以降といわれています。桃太郎の話は明治以前のため、まだ羊がいなかったそうです。

そこで、「申酉戌(さる・とり・いぬ)」の三匹が仲間になりました。昔は、酉(とり)といえは雉(キジ)を指したので、酉(とり)は勇ましい酉(とり)ではなく、雉(キジ)になったといわれています。

それが「日光東照宮」の建立です。日光東照宮は、江戸から見て子孫繁栄の意味をもつ北に位置する土地です。この強いエネルギーを持った霊山に、東の都をいつまでも照らし続けることができるようにと、日光東照宮を建立したといわれています。

そして江戸に生氣を送り続けて見守るために、奥の院に徳川家康の墓所を築いたそうです。



◆日光東照宮

風水や陰陽道を利用して徳川家康は、幕府の繁栄を願い、指南役であった天台僧正に江戸の都市計画や造宮を命じたといわれています。

天海僧正は、江戸城の鬼門にあたる東北に鬼門封じのために「東叡山寛永寺」を建立しました。鬼門の反対側である裏鬼門、すなわち江戸城の南西に「目黒不動尊」を配しました。

また家康は、その死後も風水や陰陽道を利用して、幕府や徳川家の繁栄を築こうとしていました。

それが「日光東照宮」の建立です。日光東照宮は、江戸から見て子孫繁栄の意味をもつ北に位置する土地です。この強いエネルギーを持った霊山に、東の都をいつまでも照らし続けることができるようにと、日光東照宮を建立したといわれています。

そして江戸に生氣を送り続けて見守るために、奥の院に徳川家康の墓所を築いたそうです。

◆相撲

日本の国技である相撲には、随所に「陰陽五行」や「易」の思想が入っています。ここでは、以下に、陰陽五行と易について説明しましょう。

◆陰陽五行

自然界のものは、すべて相反する二つの気、すなわち、「陰」と「陽」に分けられ、「木・火・土・金・水」の5つの要素で成り立っているとする思想。

◆易

森羅万象・人生は、「天・沢・火・雷・風・水・山・地」の八つの現象に当てはまるとする思想。

□軍配

行司の軍配に描かれている太陽は「陽」を、月は「陰」を示しています。

これには、「勝ち(陽)」と「負け(陰)」を裁く意味があります。

□行司の掛け声

行司が唱える「はつけよ〜い」とは、易の八卦(はつけ)を表しています。

八卦は八方位のことであり、八方位すべて良い。つまり、すべてを整っている、泰平であることを示しています。

□塩

土俵に塩を撒くことは、穢れを祓うことです。

□四股(しこ)

四股をふむことは、四方(東西南北)を抑えて、清めることを意味します。

□房(ふせ)

土俵の上の屋根から吊るされている4色の房は、青房「木・東」・赤房「火・南」・白房「金・西」・黒房「水・北」を表している。土俵の黄色「土・中央」と合わせて、五行思想の元に四方を守ることを意味しています。

◆京都 葵祭(あおいまつり)

葵祭は、毎年5月(旧暦)の酉の日、牛車を引き、衣装や冠に葵桂を飾りつけて練り歩く、鴨神社と上賀茂神社で行われる京都三大祭りのひとつです。

神様に風雨の沈静と五穀豊穡を願う意味をもっていますが、ここにも陰陽五行の思想を反映させています。

□日月・酉日・牛車

これらは、陰陽五行の中の、金の気が上がる組み合わせである「巳・酉・丑」を表し、五穀豊穡を願っています。

□葵柱

葵祭では、葵と桂を絡ませたものを飾りに使います。葵は陰陽道で女性を表し、地震や雷の厄除けになり、桂は陰陽道で男性を表します。陰と陽が一つになることは天下泰平を示し、上賀茂神社の雷(いかずち)の神に捧げること風水害から免れる願いが込められているそうです。

相撲という、西国技館を想像しますが、今でもあちこちの神社の境内に土俵があることから分かるように、もともとは神事でした。

神様に相撲を捧げ、五穀豊穡や天下泰平、子孫繁栄などを願う意味があります。だから、穢れを祓い、四方を守り、神聖な場にするのが大切だったのでね。



指導・監修/占い師 あかね先生 愛知県在住
◇四柱推命 ◇風水師 ◇一般健康管理指導員◇『茜堂』主宰

四柱推命・タロット・風水等を学び、独立する。お客様の知りたいことに対して占術を使い分けて、わかりやすくアドバイスしている。相手の気持ちや悩み、心や性格の深層部分までリーディングする鑑定や、仕事・転職のタイミング・旅行の方角から時期まで、運氣上昇についての占いが好評を得ている。一般健康管理指導員の資格を取得して、先天的に注意する健康や、後天的な健康に対するアドバイスは的確。四柱推命・風水教室も開催している。

■公式ホームページ <http://akanedou.chu.jp> 「愛知県 あかね占い師」で検索